



発言する名古屋の草地さん（8. 2 関電本店前）

# 原発新設のための 地質調査に断固反対

8月2日、午後5時半から関西電力本店前での抗議行動「原発増設許すなやめろ！」美浜での地質調査に名古屋から参加しました。

緊急の呼びかけではありましたが、開始前から多くの人々

# 老朽原発 うごかすな！ ニュース

8・2 「原発増設をやめるすな！緊急行動@関電本店前 やめろ！美浜での地質調査」集会に参加して

# 第149号

発行・老朽原発うごかすな!  
実行委員会

[ 連 絡 先 ]  
090-1965-7102

[ 連 絡 先 ]  
090-1965-7102

私たちは、名古屋で関電の老朽原発廃炉のために裁判を闘っていますが、この闘いは新增設を止めるためのものでもあると思っていました。新增設には今後何十年かかるかわ

き出すギリギリの時期だと言つて  
います。新設も運転延長も絶対に認め  
ない！この声を上げていくく  
ために、皆様と共に頑張りました  
いと思います。

# 原発緊急増設設ゆるすな！行動に参加して

この日は四国電力本店前行動を闘っている仲間と3人で参加しました。猛暑の中での緊急行動にも関わらず300

人の総集があることは関西での粘り強い鬭いの結実を感じると同時に、出鱈目、誤魔化し、約束無視を繰り返す闇電に対する怒りの大きさを強く感じました。

関西電力も四国電力も使用済み燃料の処理として、六ヶ所村再処理工場を言い訳にします。計画から30年以上、27回もの延期を繰り返す工場がまとめて稼働することはとても考えられません。最終処分は地層処分と言っているが、場所はいまだに決まらない。



関電本店に向け怒りのシュプレヒコール（左側に関電本店ビル）

年どころか建設時には全く想定されていない60年超えのオンボロ原発までも使い続けるなど言語道断です。全てが出来鱈目な原子力政策は、どんなに出鱈目でも「こうする。ああする」と言い続ければザブザブと金が降つてくる。そこに群がる亡者には、「延期」という言葉はもはや金の音にしか聞こえていないのでしょうか。原子力に流しこまれる金は全て私たちの電気料金と税金です。弱いものを助けるために使うわずかな金額に文句を言うより、一部の企業のために注ぎ込まれる莫大な金にこそ声をあげるべきです。



発言する四国の名出さん（8・2 関電本店前）

先日、信州にある無言館に行つてきました。森の中にある館内には生が輝いていました。絵に込められた「生きたい」という若き学徒の思い、生があふれています。ゆえに、無念と静かな深い怒りが感じられました。



主催者挨拶をする中島哲さん（8・2 関電本店前）

大阪は連日の40度超えの猛暑。関電前にかけつけると緊急にも関わらず大勢の人が集まっていました。

ことに塗り替え、今度は新設だと、これは黙っておられません。怒りの声を関電に届けなければと駆け付け

ことに塗り替え、今度は新

大阪は連日の40度超えの暑さ。関電前にかけつけると急にも関わらず大勢の人気がまつっていました。

## 3・2 原発増設をゆるさない！緊急集会に参加して

に持ち替えさせて死なせていました。

福島でも放射線被ばくの科学的根拠を示さず、事故後の4月19日には1m/sv(年)を20m/svに引き上げ、文

A man in a dark suit and glasses is speaking into a microphone, holding a tablet. He is standing in front of a large building with a traffic light and a woman in the background.



### 労働者としての決意を述べる西山さん

科省は児童を高線量下で登校させました。まだ多くの避難者がいるというのに、これが彼らの健康被害に不安をもつてゐる人がいるというのに

科省は児童を高線量下で登校させました。まだ多くの避難者がいるというのに、これかららの健康被害に不安をもつて

国家という魔物に飲み込まれてします。

集会終わりにはいい風が吹いていました。風は吹いてくると信じて。



関電本店に向け怒りのシュプレヒヨール（右側に関電ビル）